※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　国語科

科目	**国語演習Ａ**	単位数	２
使用教科書	なし		
副教材等	プレミアムカラー国語便覧　（数研出版）		
レポート	６通		
必要出席回数	２回		
テスト	１回		

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

奈良時代～近世までの幅広い作品を多角的に講読・鑑賞します。また、和歌の修辞技巧・散文学の種類など、古典の基礎知識についても理解を深めていきます。

２　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
・言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
・幅広い文学作品を多角的に講読･鑑賞し、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、日本文学に対する理解や関心を深めることによって、人生を豊かにする態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の言語文化の歴史、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。	文学作品を通して表現された思想や感情を適切に読み取り、生活や人生について考え、文学作品に親しむ。	副読本やその他の情報を用いて自学自習に取り組むとともに、言語文化や伝統に対する関心を深め、文学作品に親しもうとする。

- 学習指導要領(第１章第２款の５)に則り，ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学期末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	上代文学～中世文学	①古典の基礎知識 上代文学 ②中古文学 ③中世文学	a:文学史の流れや文学作品などについて理解し、知識を身につけている b[読]:副教材や資料を参考にして作品を読み取り、作品や作者、日本の文化などについて考えることができる c:副読本を適切に用いてレポート問題に取り組み、期限内に提出しようとしている 作品や作者、日本の文化などについて考えようとしている	レポート テスト	レポート テスト	レポート スクーリング

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度